

放課後等デイサービス

放課後等デイサービスでは新年度を迎え、利用者児童は進級しクラス替えなど新しい環境で新生活をスタートされました。



石ころもなくなり安心です

身長が高くなったり、できることが増え、一人一人が自分のペースで成長されていてとても嬉しく思います。春休みには色々な公園に出かけ、自然の中で遊んだり、リラックスして寛ぐ時間をたくさん作りました。

また、中庭が改装され、皆さんが安心して楽しく遊べる大好きな場所になりました。



休日にはみんなで公園に行きます



大原事業所の中庭が安全に遊べるようになりました



工事前の中庭

しかしながら、人工芝の経年の劣化に加えて自然石の岩組が利用者の活動に危険を及ぼす怖れがあることから、今回この岩組を撤去し一面に人工芝を敷き詰めて、広く安全に利用できるようにしました。



工事完成後の中庭
裸足でも遊べるようになりました



風 後援会からご入会のお願い

社会福祉法人風後援会は、障害者の自立と三田わくわく村の発展を願って平成7年に発足し、寄付活動や理解啓発活動を進めています。

毎年皆様のご入会（ご寄付）により、送迎車両の購入や雨よけ上屋の整備など、利用者の皆さんの活動環境整備を進めています。

今後、一層活動の輪が広がりますよう本会の趣旨にご賛同いただき、ご入会賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、今年度より事業所等のみなさん方にもご支援いただきたく賛助会員の入会をお願いしています。

個人年会費 1口 1,000 円
事業所等賛助会費 1口 3,000 円 振込先は下表のとおりです

金融機関	支店名	口座番号
ゆうちょ銀行		01110-3-66308
三井住友銀行	三田支店（店番 391）	普通 3808145
三井住友銀行	ウッディタウン出張所（店番 395）	普通 3120072

名義は全て『社会福祉法人風後援会』です

【お問い合わせ】

「風」後援会事務局 三田わくわく村大原事業所内

〒669-1515 三田市大原梅ノ木 1546-5

☎079-564-0909

製菓の価格改正

日頃より、わくわく村の製菓品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

原材料費の高騰の中でも価格維持に努めてきましたが、光熱費、材料費の高騰が続いており価格維持が困難な状況になったため令和7年5月15日より、全商品の価格を改定いたしました。

商品名	旧価格	新価格
あにまるクッキー		
大	200 円	250 円
小	100 円	120 円
黒豆きな粉クッキー		
大	200 円	250 円
小	100 円	120 円
ココナツクッキー		
大	200 円	250 円
小	120 円	120 円
マドレーヌ(各種 1 個)	60 円	80 円
焼きドーナツ(各種 1 個)	100 円	120 円
クマドレーヌ	100 円	120 円
ポン菓子		
100g	150 円	(販売中止)
50g		100 円

引き続き、お客様に喜んでいただける商品作りに取り組み、利用者の工賃向上に向けて尽力してまいりますのでよろしくお願い致します。



これからの予定 (7月から9月)

★9月8日(月)～9月29日(月)

利用者の作品展示



☆9月22日(月)PM

三田わくわく村秋祭り



→有馬富士共生センター

★9月18日(木)～9月19日(金)

大原事業所 1 班：一泊研修旅行
鳥取・城崎方面



わくわく通信

発行 社会福祉法人 風

障害福祉サービス（多機能型）

三田わくわく村

〒669-1515 三田市大原 1546-5

(TEL)079-564-0909

(FAX)079-564-8500

(e-mail) sanda.wakuwakumura@giga.ocn.ne.jp

(Hp アドレス) <http://sandawakuwakumura.com/>

理事長就任の挨拶と今後の抱負

この度の改選により西田理事長の後を受け、重大な責任と使命ある理事長の大任を仰せつかりました塚本壽子です。微力ではございますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人風は、「障害者（児）が地域社会の中で、その人らしい自立した生活を送れるよう支える」ことを理念に設立して以来、来年三十周年の佳節を迎えます。また、草創の皆様方は、利用者が毎日明るく、元気にわくわくした気持ちで通ってほしいという願いを込めて「わくわく村」と名付けられました。しかし今日では、当初より通っている利用者と今年4月に入所された利用者や保護者との間では、年齢や価値観等は大きく開き、そのニーズも複雑多様化しています。



理事・監事に就任された方々

さらに、少子高齢化の影響で利用者の減少も進み、法人を取り巻く様々な社会経済環境も一層厳しく変化してまいりました。このような状況下において、安定した経営を堅持しつつ、利用者の皆様に安心して充実した活動を提供するとともに、保護者の皆様から託された想いの実現に向けて、職員の皆様と共に話し合い、役員の方々とより良い方向に進めて参りたいと思っております。

最後に、法人運営を支えて頂いている役員の皆様をはじめ、関係機関や各種団体など多くの皆様のご支援とお力添えを今までと変わらず賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

理事長 塚本壽子

（理 事・監 事）

理事長	塚本壽子	元 NPO 法人三田市手をつなぐ育成会理事長・三田市ひまわり特別支援学校 学校地域運営協議会委員
常務理事	長田武彦	元三田わくわく村施設長・社会福祉法人風参与
理事	市川修子	元三田市教育支援委員会委員・NPO 法人三田市手をつなぐ育成会理事長
理事	小西澄雄	元宝塚市教育委員会社会教育部長・志手原校区地域づくり協議会会長
理事	吉田裕彦	元三田市立ひまわり特別支援学校校長 関西国際大学教育学部教授
理事	西田充宏	元障害者支援施設なくさ育成園園長
理事	山口隆司	三田市社会福祉協議会事務局長
監事	矢野浩一郎	会計事務所所長
監事	殿垣芳昭	元三田市理事

（評議員）

山本光洋	三田市防犯協会顧問
松本貴史	有馬富士公園管理事務所所長
山本逸郎	三田市民生児童委員
廣田武司	三輪区区长
鹿野弘明	桜ヶ丘区顧問
高田敬子	兵庫県立上野ヶ原特別支援学校・高等特別支援学校 兼務校長
垣崎敦子	三田わくわく村保護者会役員
西田洋介	社会福祉法人三翠会 特別養護老人ホーム施設長兼理事

事業報告

令和 6 年度事業報告・決算報告

日頃より、当事業所の運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

令和 6 年度は 114 名の利用者の皆さまと共に、一人ひとりの「その人らしさ」を大切にしながら支援に取り組んでまいりました。

また、令和 6 年度は、3 年に一度の報酬改定の年であり、生活介護事業はサービス提供時間ごとに改定され、事業収入が減少するとともに、定員割れにより利用率が前年比 6%減少し 81%となるなど、事業運営上の課題も浮き彫りになった 1 年でした。さらに重度者支援体制加算の見直しにも対応する必要があり、支援体制の再構築を進めております。

楽しみにしていた秋祭りについては、残念ながらコロナ感染症の再拡大等により中止となり、利用者と地域やご家族との交流機会が制約されたことも、今後の大きな課題となりました。

一方、利用者の方が地域の中で安心して暮らし、支援が継続的に届く地域共生社会の実現に向け、「共生型サービス」への対応準備や農福連携の促進など新たな取り組みにも挑戦しています。

昨年度は、わくわく村をご利用いただいていた 3 名の方がご逝去されました。もっと一緒に作業がしたかった。もっと一緒に笑いたかった。もっと温かい手に触れておきたかったなど、思いが尽きず残念で仕方ありません。在りし日のご様子を思い出しながら、その大切な時間を心に刻み、今後とも皆さまに安心してご利用いただける施設づくりに努めてまいります。

様々な出来事があった 1 年でしたが、利用者の皆さまの笑顔や前向きな姿に支えられながら、私たち職員も力を合わせて歩みを進めております。これからも「安心して通える場所」「その人らしく過ごせる時間」を大切にしながら支援の向上に努めてまいります。

今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

決算報告

令和 6 年度決算は、一般企業の営業利益にあたるサービス活動増減差額が 4 4 7 万 6 千円と昨年度に比べて一 2 8 9 5 万 3 千円で大幅な減額となりました。主な要因として、収益においては、報酬単位の区分や単価の改定に加えて利用者の減少によるもの、また費用においては、主に職員の処遇改善や増員により人件費や物価高騰による事業費等が増加したことによるものであります。このように、令和 6 年度決算は前年度に比べて大きく減収となりました。今後も、人件費等費用については増加傾向が続くと推測されるなか、更なる収益構造の強化が必要となって来ることから、社会情勢や利用者ニーズの把握に努め積極的な事業展開を目指してまいります。

令和 6 年度事業活動計算書

(自) 令和 6 年 4 月 1 日 (至) 令和 7 年 3 月 3 1 日

			R6 年度決算	R5 年度決算	対前年度増減
サービス活動増減の部	収 益	就労支援事業収益	16,464,856	13,241,175	3,223,681
		障害福祉サービス等事業収益	292,582,308	305,789,840	-13207532
		経常経費寄付金収益	198,000	349,900	-151,900
		サービス活動収益	309,245,164	319,380,915	-10,135,751
	費 用	人件費	211,790,307	198,470,242	13,320,065
		事業費	33,305,539	31,327,745	1,977,794
		事務費	34,077,999	32063461	2,014,538
		就労支援事業費用	15,757,458	14225280	1,532,178
		減価償却費	17,632,303	18074156	-441,853
		国庫補助金等特別積立金取崩し額	-7,794,194	-8208559	414,365
		サービス活動費用計	304,769,412	285,952,325	18,817,087
サービス活動増減差額		4,475,752	33,428,590	-28,952,838	

大原事業所

入所式以降は作業やウォーキング、室内でのレクリエーション活動を行っています。職員の入れ替わり等、環境の変化はありましたが、皆さんそれぞれのペースで日中活動に取り組まれています。新しく加わった利用者さんも輪の中に溶け込み、楽しみながら日中活動に取り組まれています。



音楽療法
楽しくみんなでリズムをとります



わくわく農園
きゅうりの苗を植えました

交流ハイキングでは、会場の有馬富士公園休養ゾーンまでウォーキングで向かったメンバーは本町事業所・すずかけ台事業所の方々と一緒に元気よく歩くことができました。

公用車で移動したメンバーも、会場にて玉入れやブルーシートの上で身体を伸ばすなど自然環境の中での行事を楽しみました。



蒸し暑い日でしたが、頑張って歩きました



お弁当タイム
美味しくいただきました

本町事業所

本町事業所では、旧九鬼家住宅資料館内の清掃を施設外就労として行っています。年に 2 回の公開日である 5 月には 2 階の清掃も行いました。階段が急なため皆さん慎重に 2 階から下りながらペランダの床・てすりを拭き、室内は隅々のホコリを取る作業を念入りに行いました。県指定の重要文化財に携わる事が出来ることに感謝しながら頑張っています。

交流ハイキングでは大原・すずかけ台のウォーキングメンバーと一緒に現地まで元気に歩くことができました。



有馬富士公園ゴミ拾い



九鬼家の清掃作業



機関車トーマスに乗りました



豪華な手作り弁当
みんなで作りました

志手原事業所

6 月から、尼寺の畑へ施設外就労を開始しました。ピーマンの収穫は、切っている部分といけない部分の判断が難しく、野菜の大きさ等でも「収穫していいのか・・・」と悩む時があり、踏んではいけない所や草抜きの際、土が葉にかかる病気になる等、かなり神経質に取り組む必要があり農業の難しさを実感しています。



尼寺の野菜収穫



4 月の余暇活動では新しくなったポートタワーへ行き、神戸の街を一望してきました。5 月は毎年恒例の交流ハイキング。暑い中、事業所から共生センターまで往復しました。様々な年齢層、体調に不安がある利用者さんも居ますが、全員が歩き切ることができ達成感を感じたハイキングでした。



ポートアイランドで休憩



ポートタワー
の最上階



美味しかったお弁当
お腹いっぱいになりました

すずかけ台事業所

生活介護、自立訓練においては、ろうそく作業や利用者の特性に応じた自立課題を中心に行っています。B 型においては、より幅広く難易度の高い作業に取り組むスキルアップに繋がるよう努めています。



生活介護・自立訓練の
ろうそく作業



蓬菜牧場の畑作業

交流ハイキングでは、雨予想が一転、少し暑いような好天に恵まれ、日頃の作業から離れ、皆さんとお弁当を食べ、のんびりと楽しいひとときを過ごすことができました。



交流ハイキング
楽しかったです



みんなでボール遊びをしました